

# 安全データシート

作成:2001年 9月19日

改訂:2022年 5月30日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF037-06  
製品名 : ポリオキシンAL乳剤  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3827-0825  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

### 最重要危険物有害性及び影響

#### GHS分類

物理化学性危険性	引火性液体	: 区分に該当しない
	自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
	自然発火性液体	: 区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分に該当しない
	皮膚感作性	: 区分に該当しない
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分に該当しない
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分3
	水生環境有害性(慢性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

#### GHSラベル要素

絵表示 : なし  
注意喚起語 : なし

#### 危険有害性情報

- ・水生生物に有害
- ・長期的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

##### 【予防策】

- ・環境への放出を避けること。

##### 【対応】

- ・漏出物を回収すること。

##### 【保管】

- ・施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: ポリオキシン複合体

成分及び含有量:	ポリオキシン複合体	10.0%
	(ポリオキシンBとして100,000AmBu/g)	
<その他>	塩化水素	0.2%
	界面活性剤 有機溶剤 水等	89.8%

官報公示整理番号: 化審法 (1)-215 塩化水素

化学式:  $C_{17}H_{25}N_5O_{13}$  (ポリオキシンB) 等の混合物

CAS No.: 19396-06-6 / ポリオキシン複合体  
7647-01-0 / 塩化水素

### 4. 応急措置

目に入った場合: 直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合: 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合: 被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の牛乳や水を与えて吐き出させる。ただし、被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火方法: 初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤: 水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器。

使ってはならない消火剤: データなし

消火活動上の注意: 燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

作業員に対する注意: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境影響に対する注意: 流出した製品が河川等に多量に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

流出物の処理に対する注意: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

### 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意: 取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止: 通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意: 通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管する。

## 8. 暴露防止措置

管理濃度：日本産業衛生学会、ACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策：特に不要であるが、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防毒マスク（有機ガス用）

保護手袋：ゴム手袋、耐溶剤用手袋

保護眼鏡：普通眼鏡型（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

保護衣：作業着、帽子、保護服（不浸透性）

## 9. 物理・化学的性質

外観等	:	淡黄色透明液体
臭い	:	データなし
pH (100倍希釈液)	:	3.2(参考値)
融点・凝固点	:	データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
自然発火点	:	データなし
燃焼性	:	データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度	:	1.08(参考値)
溶解度	:	データなし
n-オクタノール／水分分配係数(log値)	:	データなし
分解温度	:	データなし
動粘性率	:	データなし
粒子特性	:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の保管環境下で安定
化学的安定性	:	データなし
危険有害反応可能性	:	データなし
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	:	ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	5000 mg/kg 以上
	:	マウス(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	5000 mg/kg 以上
急性毒性(経皮)	:	ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub>	2000 mg/kg 以上
急性毒性(吸入:蒸気)	:	データなし	
急性毒性(吸入:ミスと)	:	データなし	
皮膚腐食性／刺激性	:	ウサギ	軽度の刺激性(紅斑および浮腫)。処理48時間後に回復。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	:	ウサギ	軽微な刺激性(結膜の発赤)。処理48時間後に回復。
呼吸感受性	:	データなし	
皮膚感受性	:	モルモット	感受性なし
生殖細胞変異原性	:	データなし	
発がん性	:	データなし	
生殖毒性	:	データなし	

特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) : 含有する塩酸は区分1(呼吸器系)だが、混合物として区分に該当しない。  
 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) : 含有する塩酸は区分1(歯、呼吸器系)だが、混合物として区分に該当しない。  
 誤えん有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚 : (コイ)LC<sub>50</sub> >1000 mg/l (96時間)  
 甲殻類 : (オオミジンコ)EC<sub>50</sub> 18 mg/l (48時間)  
 藻類 : EC<sub>50</sub> 630 mg/l (72時間)  
 残留性／分解性 : データなし  
 生体蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : データなし  
 その他 : 通常の使用方法では問題ない。

## 13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : 非該当  
 国連番号 : 非該当  
 国内規制  
 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
 陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

## 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第12025号  
 消防法 : 非該当  
 労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質):塩化水素(政令番号 98)  
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 非該当  
 毒物劇物取締法 : 非該当

## 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。  
 使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献 : 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法  
 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針  
 2019年6月 社団法人 日本化学工業協会  
 3) 農薬中毒の症状と治療法 第18版 2020年4月 農薬工業会  
 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。